

# 令和４年度 とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会

日時：令和４年１１月４日（金）午後２時から

（令和４年度徳島県地域介護総合確保推進協議会終了後）

Web会議にて開催

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

- （１）委員長及び副委員長の選任について
- （２）とくしま高齢者いきいきプラン(2021-2023)に係る本県の  
取組状況について
- （３）その他

### 3 閉 会

#### <配付資料>

- （資料１）とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会設置要綱
- （資料２）とくしま高齢者いきいきプラン(2021～2023)の概要
- （資料３）とくしま高齢者いきいきプラン(2021～2023)に係る本県の取組状況
- （資料４）徳島県の高齢化等の状況

〈参考〉 当日のスケジュール（全体）

午後2時から

令和4年度徳島県地域介護総合確保推進協議会  
(1時間程度)

(休憩：5分程度)

午後3時から ※1

とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会  
(30分程度)

(休憩：5分程度)

(午後3時30分 ※1

令和4年度徳島県地域介護総合確保推進協議会  
認証評価部会※2)

※1 前に開催する会の終了時間により前後する可能性があります。

※2 令和4年度徳島県地域介護総合確保推進協議会において設置が承認された場合に開催します。

# とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会委員名簿

(50音順・敬称略)

氏名	所属等	備考
伊勢 佐百合	徳島県薬剤師会副会長	
石田 いぶき	地域住民代表	
大下 直樹	認知症の人と家族の会徳島県支部代表	
大塚 忠廣	徳島県老人福祉施設協議会会長	
岡田 あかね	とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会代表幹事	
影治 信良	徳島県町村会会長	
清田 麻利子	徳島県退職者連合幹事	
佐藤 正	徳島労働局職業安定部職業対策課課長	
田蒔 正治	徳島県老人保健施設協議会会長	
田村 綾子	四国大学大学院看護学研究科科長	
寺内 カツコ	徳島県商工会議所連合会会長	
堂本 幸穂	地域住民代表	
富樫 一美	徳島県ホームヘルパー協議会会長	
内藤 佐和子	徳島県市長会会長	
中村 忠久	徳島県社会福祉法人経営者協議会会長	
野々瀬 由佳	とくしま“あい”ランド推進協議会事務局長	
橋本 昌和	徳島県国民健康保険団体連合会介護保険課課長	
細井 啓造	徳島県老人クラブ連合会会長	
松下 恭子	徳島大学大学院医歯薬学研究部准教授	
保岡 正治	徳島県慢性期医療協会会長	
柳澤 幸夫	徳島文理大学保健福祉学部教授	
山上 敦子	徳島県医師会副会長	
山口 貴功	徳島県歯科医師会専務理事	
山口 浩志	徳島県介護支援専門員協会理事長	
山本 雅敏	日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長	
横山 敦子	徳島県看護協会専務理事	
吉田 貴史	徳島県社会福祉協議会福祉人材センター所長	
米本 正志	徳島県シルバー人材センター連合会常務理事兼事務局長	



## とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会設置要綱

### (設置)

第1条 老人福祉法（昭和38年法律第133号）に定める老人福祉計画及び介護保険法（平成9年法律第123号）に定める介護保険事業支援計画の策定並びにこれらの法律に基づき策定した計画（以下「計画」という。）の進捗状況に係る評価・点検に関し、必要な事項を協議するため、とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (協議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

- (1) 基本理念、達成しようとする目的及び地域の実情に応じた特色の明確化、施策の達成状況の評価等に関すること
- (2) 高齢者等の現状及びサービス実施の現況の分析に関すること
- (3) 圏域の設定等に関すること
- (4) 計画期間の各年度における高齢者等の状況に関すること
- (5) 計画期間の各年度ごとのサービス量の見込みに関すること
- (6) サービス供給体制、見込量の確保のための方策に関すること
- (7) 地域包括ケアシステム構築のための支援に関すること
- (8) その他計画の策定及び進捗状況に係る評価・点検に関し必要な事項

### (組織)

第3条 委員会は、委員28人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、知事が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 保健・医療・福祉関係者
- (3) 市町村の代表者
- (4) 介護保険の被保険者代表・費用負担関係者
- (5) 高齢者問題に関心をもつ者

3 委員の任期は3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

### (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は委員の互選により、副委員長は、委員長の指名によりそれぞれ定める。

3 委員長は委員会を統括し、委員会を代表する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

### (委員会)

第5条 委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

**(関係者の出席)**

第6条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聞くことができる。

**(庶務)**

第7条 委員会の庶務は、保健福祉部長寿いきがい課において処理する。

**(その他)**

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

**附 則**

- 1 この要綱は、令和元年5月1日から施行する。
- 2 第3条第3項の規定に関わらず、この要綱の施行の日以後、最初に委嘱される委員の任期は、令和4年3月31日までとする。

**附 則**

- 1 この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

## とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会公開要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、とくしま高齢者いきいきプラン策定評価委員会（以下「委員会」という。）の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (委員会開催の周知)

第2条 委員会開催の周知は、県のホームページへの掲載、報道機関への資料提供等により行うものとする。

2 公表の内容は、会議の名称、日時、場所、議題、傍聴手続きその他必要な事項とする。

### (傍聴者の決定方法)

第3条 傍聴を希望するものは、指定された日までに、電話又はファクシミリにより、保健福祉部長寿いきがい課へ申し込まなければならない。ただし、傍聴申込者が定員に満たない場合は、委員会当日の口頭での申込みによる傍聴を認めるものとする。

2 傍聴申込者が定員を超えた場合は、先着順により決定する。

3 傍聴者の定員は、10名程度とする。

### (傍聴者の遵守事項)

第4条 傍聴者は、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 静粛にし、議事の円滑な進行を妨げないこと。
- (2) 委員会における発言に対して批判を加え、可否を表明し又は拍手をしないこと。
- (3) みだりに席を離れたり、他人の迷惑となる行為をしないこと。
- (4) 委員長が特に認める場合を除き、撮影又は録音を行わないこと。
- (5) その他委員会の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

2 傍聴者が前項の規定に違反する行為をしたと認めるときは、委員長は、これを制止し、その命令に従わないときは退場させることができる。

### (報道関係者の取扱)

第5条 報道関係者の傍聴についても、この要領を準用する。ただし、第3条の規定は適用しないものとする。

### (会議録の公開)

第6条 委員会の会議録は、県のホームページに掲載する。

2 前項の規定にかかわらず、非公開情報に関する会議録は公開しない。

### (雑則)

第7条 この要領に定めるもののほか、公開に関し必要な事項は、委員長が定める。

### 附 則

この要領は、令和元年5月1日から施行する。





## とくしま高齢者いきいきプラン（2021～2023）の概要 （第8期徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画）

### 1 概要

「老人福祉法」に基づく「老人福祉計画」と「介護保険法」に基づく「介護保険事業支援計画」を一体のものとして策定し、市町村が行う介護保険事業の円滑な実施を支援する。

### 2 計画期間

令和3年度から令和5年度まで（3年間）

### 3 基本理念

「地域で共に“いきいき輝くとくしま”の実現」

### 4 重点戦略及び施策の体系

#### I 生涯を通じた健康・活躍の推進

- (1) 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
- (2) いきがいづくり・社会参加の促進
- (3) 敬老理念の普及啓発

#### II 自分らしく生きられる地域社会の実現

- (1) 高齢者が住みやすい地域づくり
- (2) 災害・感染症対策の推進
- (3) 認知症施策の推進

#### III 安全・安心な介護サービス体制の構築

- (1) 適切な介護サービス基盤の整備
- (2) 介護人材の確保及び業務効率化による質の向上
- (3) 介護給付適正化の推進

### 5 主要介護サービス見込量

区分	R元実績	R3	R4	R5
訪問介護（人／年）	107,381	111,096	113,508	116,004
訪問看護（回／年）	301,188	345,472	354,522	363,730
通所介護（人／年）	94,557	98,196	100,224	102,360
短期入所生活介護（日／年）	446,869	498,839	509,884	522,490
認知症対応型共同生活介護（人／年）	27,784	28,272	28,824	29,124

### 6 介護保険施設入所定員総数

（単位：人）

区分	R2	R3	R4	R5
介護老人福祉施設	3,993	4,022	4,022	4,022
介護老人保健施設	4,119	4,119	4,119	4,119
介護療養型医療施設	512	337	210	0
介護医療院	517	673	816	955
計	9,141	9,151	9,167	9,096

とくしま高齢者いきいきプラン（第8期）における数値目標

重点戦略	No.	指標	R元実績	R3目標	R4目標	R5目標
Ⅰ 生涯を通じた健康・活躍の推進	1	「フレイルサポーター」養成数（累計）	78人	150人	200人	250人
	2	シルバー大学校大学院における資格取得者数（累計）	1,600人	1,700人	1,800人	1,900人
	3	県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会等の参加者数	4,750人	4,940人	5,000人	5,050人
Ⅱ 自分らしく生きられる地域社会の実現	4	ユニバーサルカフェの整備箇所数（累計）	17箇所	18箇所	20箇所	22箇所
	5	認知症サポーター数	97,027人	104,500人	110,000人	115,000人
Ⅲ 安全・安心な介護サービス体制の構築	6	モデル事業による「介護助手」の雇用施設数（累計）	66施設	100施設	125施設	140施設
	7	介護に関する入門的研修全課程（2課程）修了者数（累計）	148人	240人	300人	360人
	8	業務効率化のためのICT導入事業所数（累計）	—	50事業所	75事業所	100事業所
	9	介護事業所における介護ロボット導入事業所数（累計）	56事業所	120事業所	140事業所	160事業所
	10	主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数	43人	260人	300人	340人
	11	全居宅介護支援事業者にケアプラン点検を実施した保険者数	12保険者	16保険者	18保険者	20保険者
	12	多職種との連携による住宅改修の点検を実施した保険者数	5保険者	7保険者	10保険者	13保険者

色付きの4項目は、「自立支援、介護予防又は重度化防止等」に係る保険者の取組を支援するものとして、介護保険事業支援計画（とくしま高齢者いきいきプラン）に記載した本県の「取組と目標」として整理する。

→ 調査・分析や評価を行うとともに、国に報告することとなる事項

※介護保険法第118条第2項第2号・第3号、同条第7項、同条第8項

# とくしま高齢者いきいきプランに係る本県の取組状況

## I 生涯を通じた健康・活躍の推進

自己評価 ○:目標に達している △:目標達成には至っていないが、一定の進捗がみられる ×:目標達成に向けた進捗がみられない

No.	項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	R2(2020) 実績	年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R3年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
1	「フレイルサポーター」養成数(累計)	団塊の世代が75歳以上となる2025年を迎える中、介護予防が重要と考える。地域の「アクティブシニア」が主役となる「フレイルサポーター」を養成し、「フレイルチェック」を通じ、お互いの健康状態を確認し合う「地域づくり」を支援していくことにより、介護予防につなげていく。		目標	150人	200人	250人	県内の新たな2実践地域や既に令和元年度から実践している地域で、「フレイルサポーター」の養成に取り組んだ。	○	目標は既に達成しているが、県民一人ひとりが、年齢を重ねても自立した生活が維持できるよう、新たな実践地域の構築支援に取り組むとともに、県民総ぐるみによるフレイル予防作戦の更なる推進に取り組む。
			142人	実績	311人					
2	シルバー大学校大学院における資格取得者数(累計)	高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう、地域福祉を推進するリーダーを育成する「シルバー大学校」を開講するとともに、さらに専門的で高いレベルの学習機会を提供する「シルバー大学校大学院」を開講し、社会貢献活動を推進する人材を養成する。		目標	1,700人	1,800人	1,900人	令和2年度にはやむを得ず中止となったシルバー大学校大学院であるが、令和3年度は基本的な感染対策はもとより、より広い会場への変更等の工夫により、「とくしまアラート」に伴う一時休講期間があったものの、67名が資格を取得した。休講期においても、放送講座やWebによる講座を実施し、高齢者への学びの場を提供した。	△	マスクの着用や消毒の徹底など「基本的な感染対策」はもとより、「より広い会場への変更」や「受講生の検温・体調把握の実施」など、万全の対策を講じた上でシルバー大学校大学院を開講し、資格取得に向け、各講座の充実・実施に努める。また、コロナの状況を見極めながら、「Web講座」や「放送講座」を実施するなど、高齢者の学びの場の確保に努める。
			1,600人	実績	1,667人					

I 生涯を通じた健康・活躍の推進

No.	項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	R2(2020) 実績	年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R3年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
3	県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会等の参加者数	長寿社会についての県民意識の高揚、高齢期の健康と生きがいがづくり、社会の有力な担い手として活躍する高齢者像の普及、地域を越えた幅広い分野の参加者がふれあいと交流により互いの理解を深めることを目的に、県健康福祉祭等を開催するとともに、参加者の拡大を図る。		目標	4,940人	5,000人	5,050人	全国健康福祉祭が中止、また県健康福祉祭についても一部中止となったものの、「とくしまアラート」が引き下げられたのちは、感染対策を講じた上で、競技団体と連携し、県健康福祉祭を実施した。	△	高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図るため、引き続き、関係団体と連携しニューノーマルに対応した県健康福祉祭等の開催や、全国健康福祉祭への選手派遣等を実施する。
			1,605人	実績	3,089人					

## Ⅱ 自分らしく生きられる地域社会の実現

No.	項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	R2(2020) 実績	年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R3年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
4	ユニバーサルカフェの整備箇所数(累計)	<p>人口減少や核家族化の進行などによる地域コミュニティの希薄化に対し、地域で支え合う環境づくりが課題とされる一方、社会福祉法人やNPO法人等では、子どもや高齢者、障がい者、外国人などが集い、それぞれが持つ悩みや経験を共有し、互いに支え・支えられる関係を構築する福祉拠点設置の取組が進められている。</p> <p>県では、平成28年度、子ども・高齢者・障がい者・外国人のうち少なくとも2人以上が交流するなど一定要件を満たしたものを認定する「徳島県版ユニバーサルカフェ認定制度」を設け、こうした拠点の信用度・認知度の向上を図ることにより、各拠点の利用拡大、さらには地域の絆の再構築につなげる。</p>		目標	18箇所	20箇所	22箇所	<p>R3年12月公募を開始し、新たに4箇所を認定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CAFÉ and BAR Nuun(ヌーン)</li> <li>・きらきら星</li> <li>・葉々素(ななそ)</li> <li>・地域生活支援拠点 青空</li> </ul> <p>これまでに認定されたユニバーサルカフェを地域情報紙に掲載するほか、カフェマップを作成し、利用者拡大に向けたPRを行った。</p>	○	引き続き、ユニバーサルカフェとして認定された拠点について、県のホームページや、地域情報紙への掲載等を通じ、認知度の向上を図り、地域で支え合う環境づくりを推進していく。
			21箇所	実績	25箇所					
5	認知症サポーター数(累計)	<p>認知症に対する正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支える認知症サポーターを養成することで、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを推進していく。</p>		目標	104,500人	110,000人	115,000人	<p>教育機関や各種企業・団体と連携し、サポーター養成講座を開催した。</p>	△	<p>目標には僅かに届かなかったが、総人口に占めるサポーターの割合は「全国8位」となり、認知症の人や家族を見守る応援者の養成につながることができた。引き続き、関係機関と連携してサポーター養成に取り組む。</p>
			100,041人	実績	104,271人					

### Ⅲ 安全・安心な介護サービス体制の構築

No.	項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	R2(2020) 実績	年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R3年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
6	モデル事業による「介護助手」の雇用施設数(累計)	高齢者のいきがい・健康づくりや介護現場の負担軽減等を図るため、元気で意欲のある高齢者が、介護助手として、身体的負担が比較的少ない介護周辺業務を担うことにより、介護職員と業務をシェアする「徳島県版『介護助手』制度」の普及・定着を図る。	82施設	目標	100施設	125施設	140施設	18施設がモデル施設として選定され、うち14施設で28名が雇用された。そのうち18名が継続雇用となった。	△	対象施設の拡大や雇用開始時期の柔軟化を図ることにより、制度の更なる普及・定着を図る。
7	介護に関する入門的研修全課程(2課程)修了者数(累計)	介護未経験者が介護分野への参入のきっかけを作るとともに、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、介護に関する基本的な知識を学ぶ研修を実施する。	196人	目標	240人	300人	360人	5日間の研修を実施し、56名が修了した。	○	サブ会場を設置し、リモートにより県内広域で受講しやすい環境を整えることで「多様な人材の参入」を促進する。
8	業務効率化のためのICT導入事業所数(累計)	介護人材不足が見込まれる中、人材の定着を促進するため、業務の負担軽減が重要と考える。業務を一元管理するシステムの導入やタブレットの活用といったICTの導入を支援することにより、介護現場の業務の効率化につなげていく。	23事業所	目標	50事業所	75事業所	100事業所	介護保険施設・事業所に対し、ICT導入費用の補助を行った。	○	引き続き、介護事業所におけるICT導入を支援することで、介護現場の職場環境改善を推進し、介護分野における生産性向上やサービスの質の向上に取り組む。

Ⅲ 安全・安心な介護サービス体制の構築

No.	項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	R2(2020) 実績	年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R3年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
9	介護事業所における介護ロボット導入事業所数(累計)	介護人材不足が見込まれる中、人材の定着を促進するため、業務の負担軽減が重要と考える。移動支援や見守りセンサーといった介護ロボットの導入を支援することにより、職員の負担軽減や利用者の自立支援を促進する。		目標	120事業所	140事業所	160事業所	介護保険施設・事業所に対し、介護ロボット導入費用の補助を行った。	○	引き続き、介護事業所における介護ロボットの導入を支援することで、介護現場の職場環境改善を推進し、職員の負担軽減に取り組む。
			92事業所	実績	125事業所					
10	主任介護支援専門員フォローアップ研修受講者数(累計)	地域包括ケアの推進に向け、主任介護支援専門員が求められる役割を理解し、助言・指導などのケアマネジメントが適切かつ円滑に提供できるよう知識及び技術を学び、法定研修をはじめとする各研修会の講師やファシリテーターの人材育成を図る。		目標	260人	300人	340人	(2021) 3日間の研修を実施し、18名が受講した。	○	コロナの影響で受講人数が減少したが、今後はオンライン研修等、研修の実施方法について柔軟に対応する。
			259人	実績	277人					
11	全居宅介護支援事業者にケアプラン点検を実施した保険者数	利用者に対する適切な介護サービスを確保し、その結果としての効率化を通じて、介護保険制度の信頼感や持続可能性を構築するものであり、費用対効果が最も期待できることから県内保険者とケアマネ双方を支援するため実施する。		目標	16保険者	18保険者	20保険者	国保連合会等と連携した研修会や、県ケアプラン点検支援員派遣事業等を実施するなど、県内保険者と介護支援専門員への制度の理解を促すことにより、利用者に対する適切な介護サービスの確保が図られた。	△	コロナの影響もあり、目標に届かなかったことから、リモートの積極的な活用を図りたい。
			14保険者	実績	15保険者					

Ⅲ 安全・安心な介護サービス体制の構築

No.	項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	R2(2020) 実績	年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R3年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
12	多職種との連携による住宅改修の点検を実施した保険者数	自宅で、手すりの取り付け、床段差の解消などの住宅改修により自立支援をサポートするに当たっては、より効果的な改修が行われるよう、介護支援専門員など様々な職種による相談、点検などを行う。		目標	7保険者	10保険者	13保険者	多職種による住宅改修の実地調査により、申請者の身体状況に応じた適切な環境改善が図られた。	△	コロナの影響もあり、目標に届かなかったことから、リモートの積極的な活用を図りたい。
			6保険者	実績	6保険者					



とくしま高齢者いきいきプラン（第8期）における数値目標について

NO. 1 「フレイルサポーター」養成数（累計）

（1）現在の目標 R 3 : 150人 R 4 : 200人 R 5 : 250人

（2）令和3年度実績 311人

（3）見直し後の目標数値（検討中） R 4 : 380人 R 5 : 450人

NO. 4 ユニバーサルカフェの整備箇所数（累計）

（1）現在の目標 R 3 : 18箇所 R 4 : 20箇所 R 5 : 22箇所

（2）令和3年度実績 25箇所

（3）見直し後の目標数値（検討中） R 4 : 28箇所 R 5 : 31箇所

〇「とくしま高齢者いきいきプラン」(第8期)におけるサービス量等の見込みと実績

サービスの種類			第8期(とくしま高齢者いきいきプラン2021~2023)				
			2021年度			2022年度	2023年度
			見込み	実績	比率	見込み	見込み
訪問介護	介護	(人数/年間)	111,096	126,557	113.9%	113,508	116,004
	計	"	111,096	126,557	113.9%	113,508	116,004
訪問入浴介護	介護	(回数/年間)	19,619	16,687	85.1%	20,180	20,870
	予防	"	0	12	-	0	0
	計	"	19,619	16,699	85.1%	20,180	20,870
訪問看護	介護	"	345,472	358,029	103.6%	354,522	363,730
	予防	"	61,968	56,012	90.4%	62,796	63,722
	計	"	407,440	414,041	101.6%	417,318	427,452
訪問リハビリテーション	介護	(回数/年間)	289,457	311,442	107.6%	297,935	305,372
	予防	"	57,096	59,499	104.2%	58,810	60,352
	計	"	346,553	370,941	107.0%	356,745	365,724
居宅療養管理指導	介護	(人数/年間)	56,088	81,919	146.1%	57,660	59,424
	予防	"	3,132	3,525	112.5%	3,144	3,204
	計	"	59,220	85,444	144.3%	60,804	62,628
通所介護	介護	"	98,196	96,873	98.7%	100,224	102,360
	計	"	98,196	96,873	98.7%	100,224	102,360
通所リハビリテーション	介護	"	67,440	61,369	91.0%	69,120	70,560
	予防	"	30,624	28,925	94.5%	31,200	31,644
	計	"	98,064	90,294	92.1%	100,320	102,204
短期入所生活介護	介護	(日数/年間)	498,839	434,041	87.0%	509,884	522,490
	予防	"	3,421	2,369	69.2%	3,503	3,503
	計	"	502,260	436,410	86.9%	513,387	525,993
短期入所療養介護	介護	"	24,656	17,020	69.0%	25,184	25,763
	予防	"	148	249	168.2%	148	148
	計	"	24,804	17,269	69.6%	25,332	25,911
特定施設入居者生活介護	介護	(人)	212	203	95.9%	215	218
	予防	"	34	26	75.5%	34	34
	計	"	246	229	93.1%	249	252
福祉用具貸与	介護	(人数/年間)	156,780	163,529	104.3%	160,572	164,568
	予防	"	47,340	49,738	105.1%	48,276	48,960
	計	"	204,120	213,267	104.5%	208,848	213,528
特定福祉用具販売	介護	"	2,640	2,356	89.2%	2,688	2,772
	予防	"	1,104	999	90.5%	1,116	1,116
	計	"	3,744	3,355	89.6%	3,804	3,888
居宅介護支援・介護予防支援	介護	"	252,804	249,134	98.5%	258,600	263,988
	予防	"	73,188	73,536	100.5%	74,568	75,540
	計	"	325,992	322,670	99.0%	333,168	339,528
住宅改修	介護	"	2,160	1,769	81.9%	2,172	2,208
	予防	"	1,380	1,281	92.8%	1,392	1,392
	計	"	3,540	3,050	86.2%	3,564	3,600
指定介護老人福祉施設	利用者数 (人/月平均)		3,452	3,425	99.2%	3,443	3,443
	定員数 (3/31現在)		4,022	4,022	100.0%	4,022	4,022
介護老人保健施設	利用者数 (人/月平均)		3,955	3,872	97.9%	3,955	3,955
	定員数 (3/31現在)		4,119	4,119	100.0%	4,119	4,119
指定介護療養型医療施設	利用者数 (人/月平均)		324	320	98.8%	279	178
	定員数 (3/31現在)		337	374	111.0%	210	0
介護医療院	利用者数 (人/月平均)		676	526	77.8%	778	1,071
	定員数 (3/31現在)		673	675	100.3%	816	955

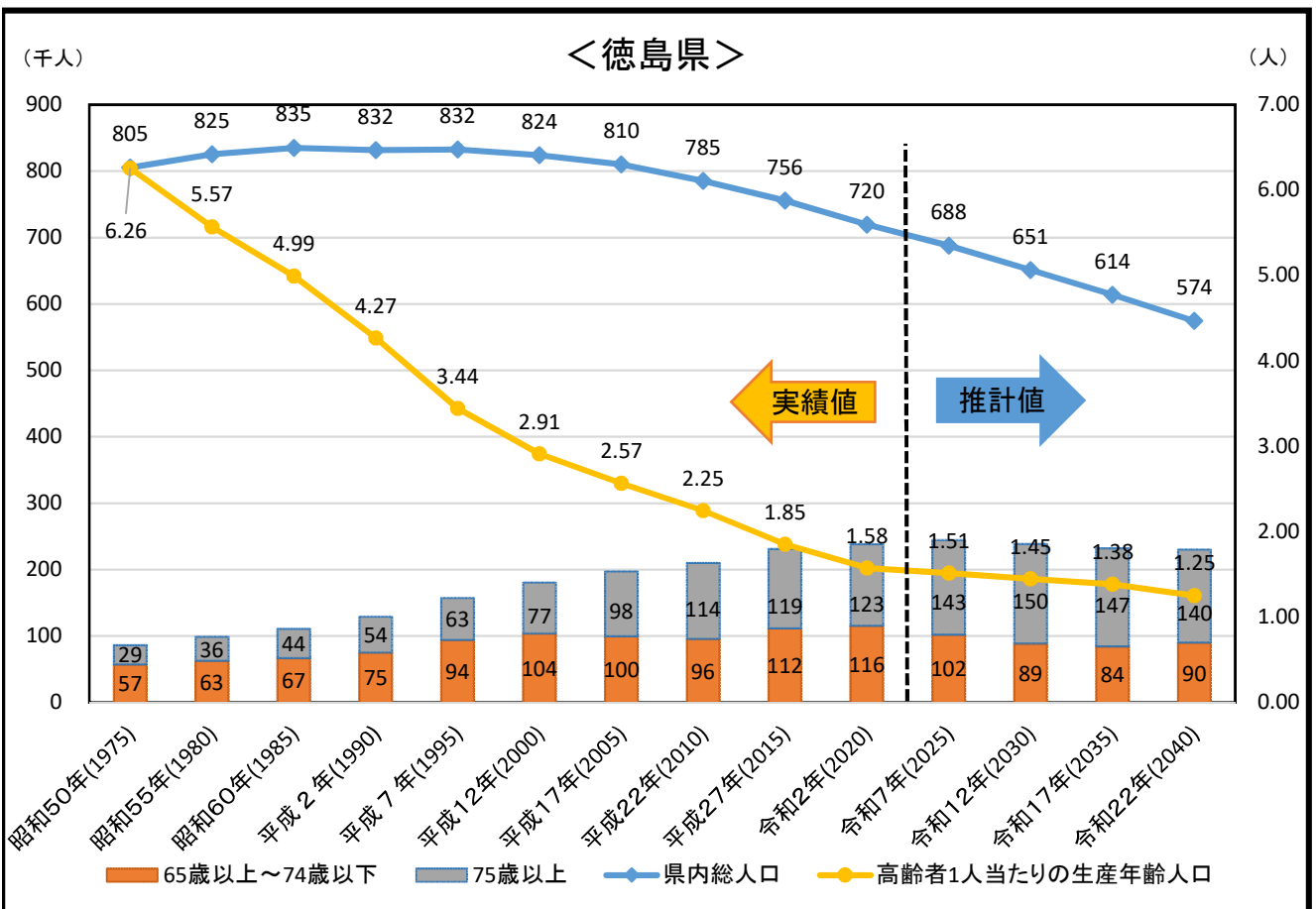
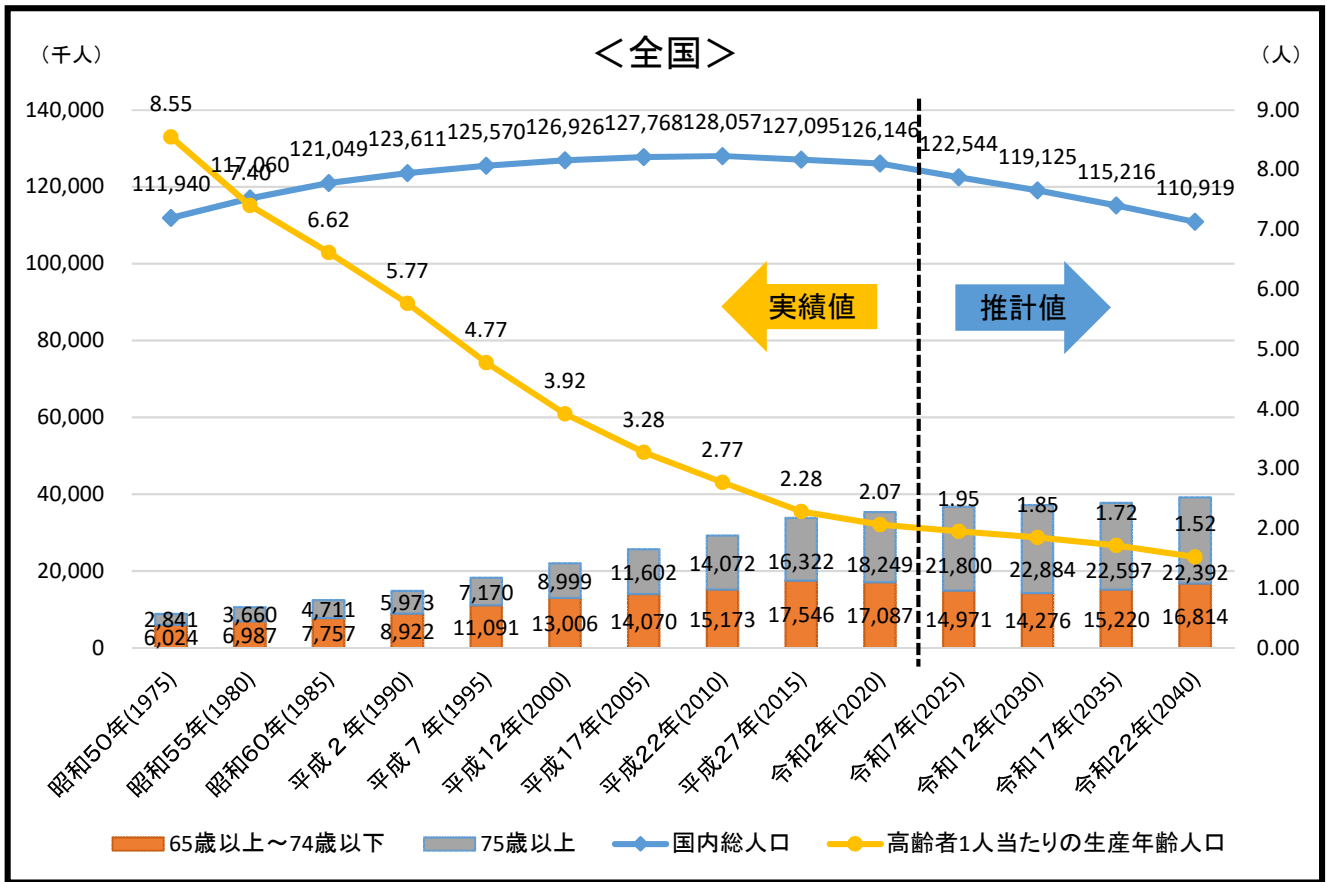
サービスの種類		第8期(とくしま高齢者いきいきプラン2021~2023)					
		2021年度			2022年度	2023年度	
		見込み	実績	比率	見込み	見込み	
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	(人数/年間)	456	221	48.5%	696	756	
夜間対応型訪問介護	(人数/年間)	0	0	-	0	0	
認知症対応型通所 介護	介護	(回数/年間)	54,209	42,963	79.3%	55,666	58,007
	予防	"	877	197	22.5%	877	877
	計	"	55,086	43,160	78.4%	56,543	58,884
小規模多機能型居 宅介護	介護	(人数/年間)	8,808	8,486	96.3%	9,156	9,444
	予防	"	1,380	1,313	95.1%	1,404	1,440
	計	"	10,188	9,799	96.2%	10,560	10,884
看護小規模多機能型居宅介護	(人数/年間)	996	891	89.5%	1,356	1,380	
認知症対応型共同 生活介護(グループ ホーム)	介護	(人数/年間)	28,272	27,636	97.8%	28,824	29,124
	予防	"	156	113	72.4%	156	180
	計	"	28,428	27,749	97.6%	28,980	29,304
地域密着型 介護老人福祉施設	(人数)	476	461	96.8%	505	505	
地域密着型通所介護	(人数/年間)	25,812	23,997	93.0%	26,340	26,808	



## 徳島県の高齢化等の状況

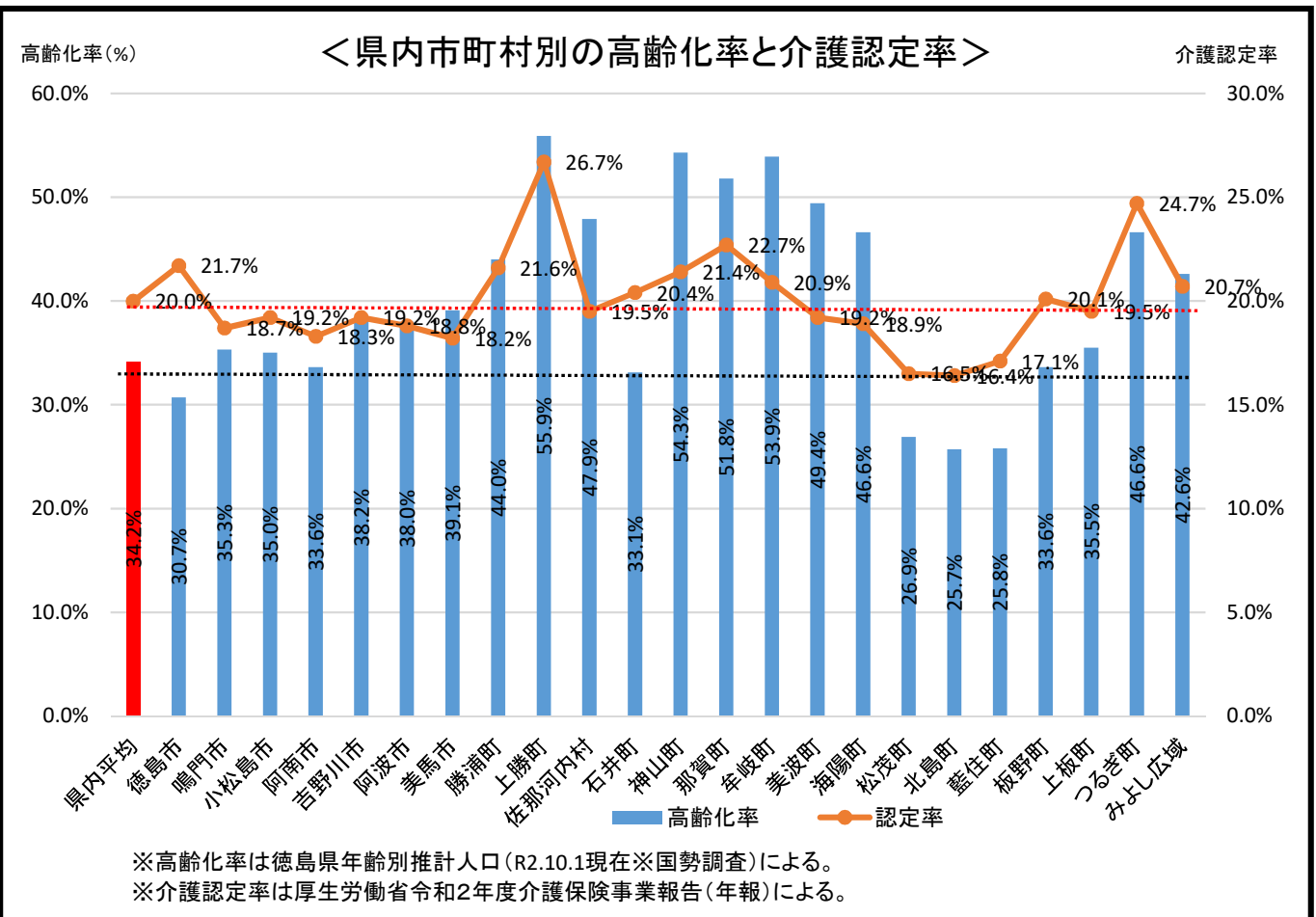
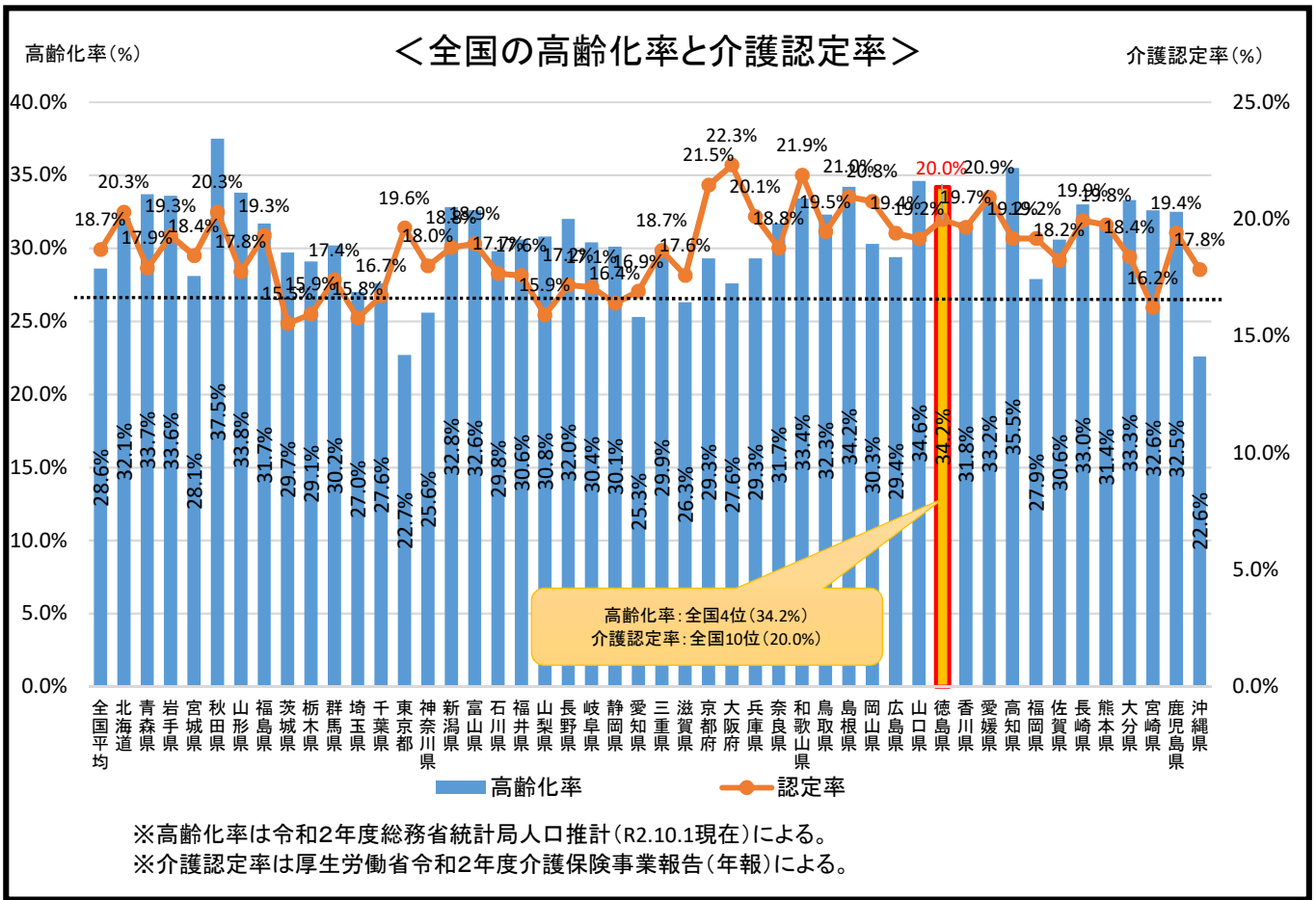
項 目	頁
高齢者人口の推移（全国・徳島県）	1
高齢化率と介護認定率の状況（都道府県別・県内市町村別）	2
高齢化率の推移・平均寿命の推移	3
高齢者世帯の推移（全国・徳島県）	4
人口ピラミッドの将来推計（全国）	5
人口ピラミッドの将来推計（徳島県）	6
介護職員の需要推計	7

# 高齢者人口の推移(全国・徳島県)



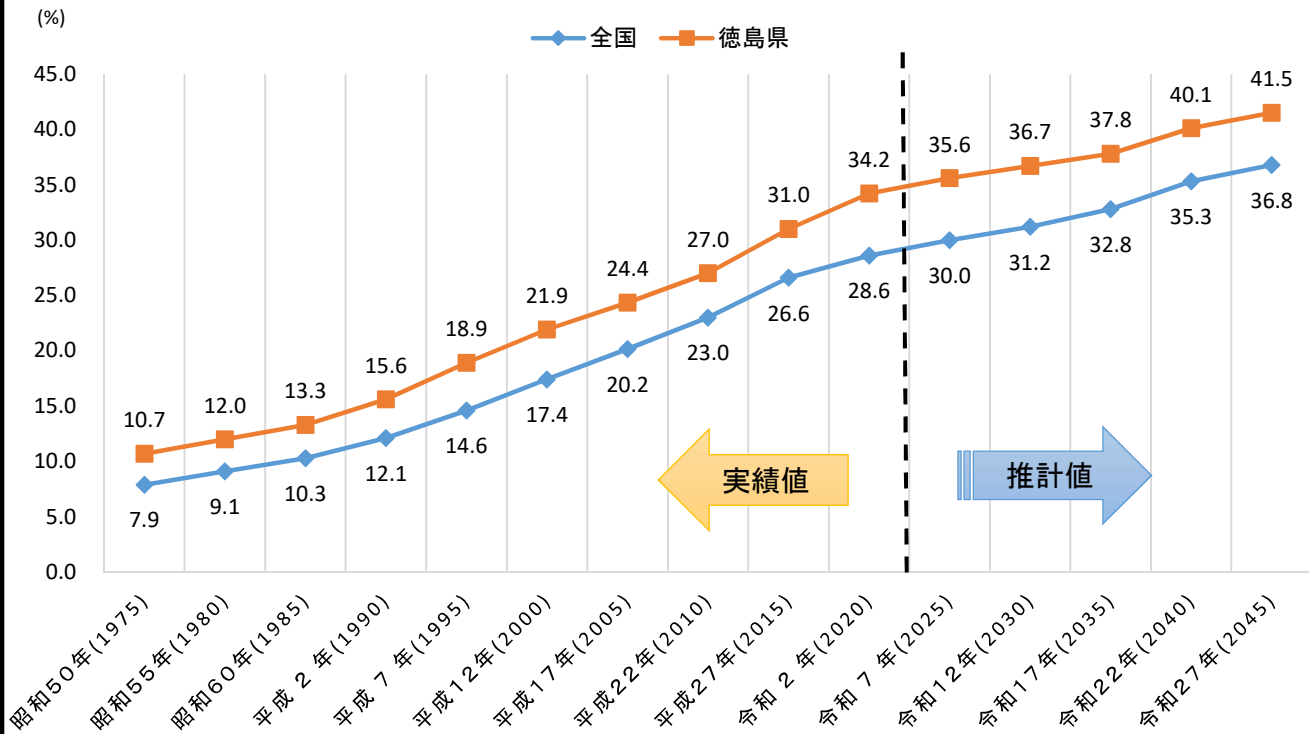
(出所) 実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」による。

# 高齢化率と介護認定率の状況



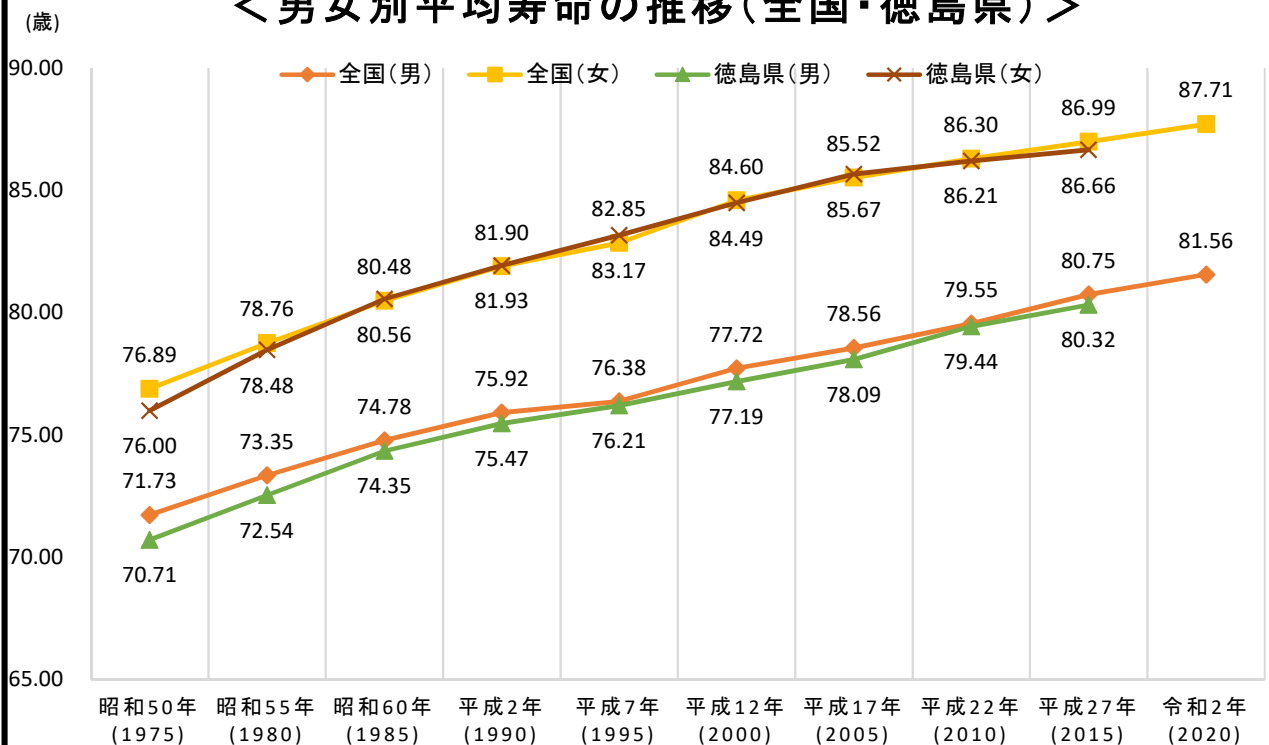
# 高齢化率の推移・平均寿命の推移

## <高齢化率の推移(全国・徳島県)>



(出所)実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」による。

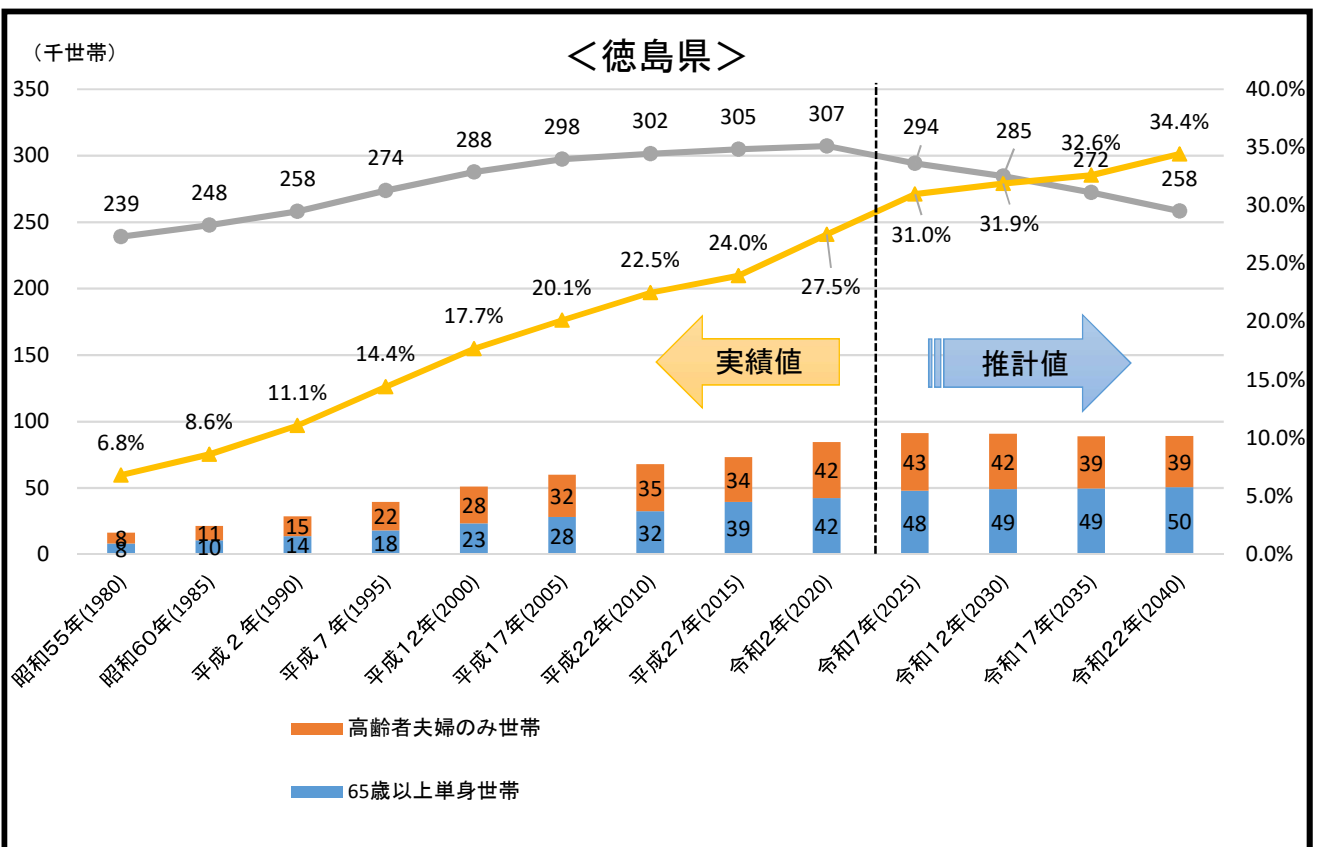
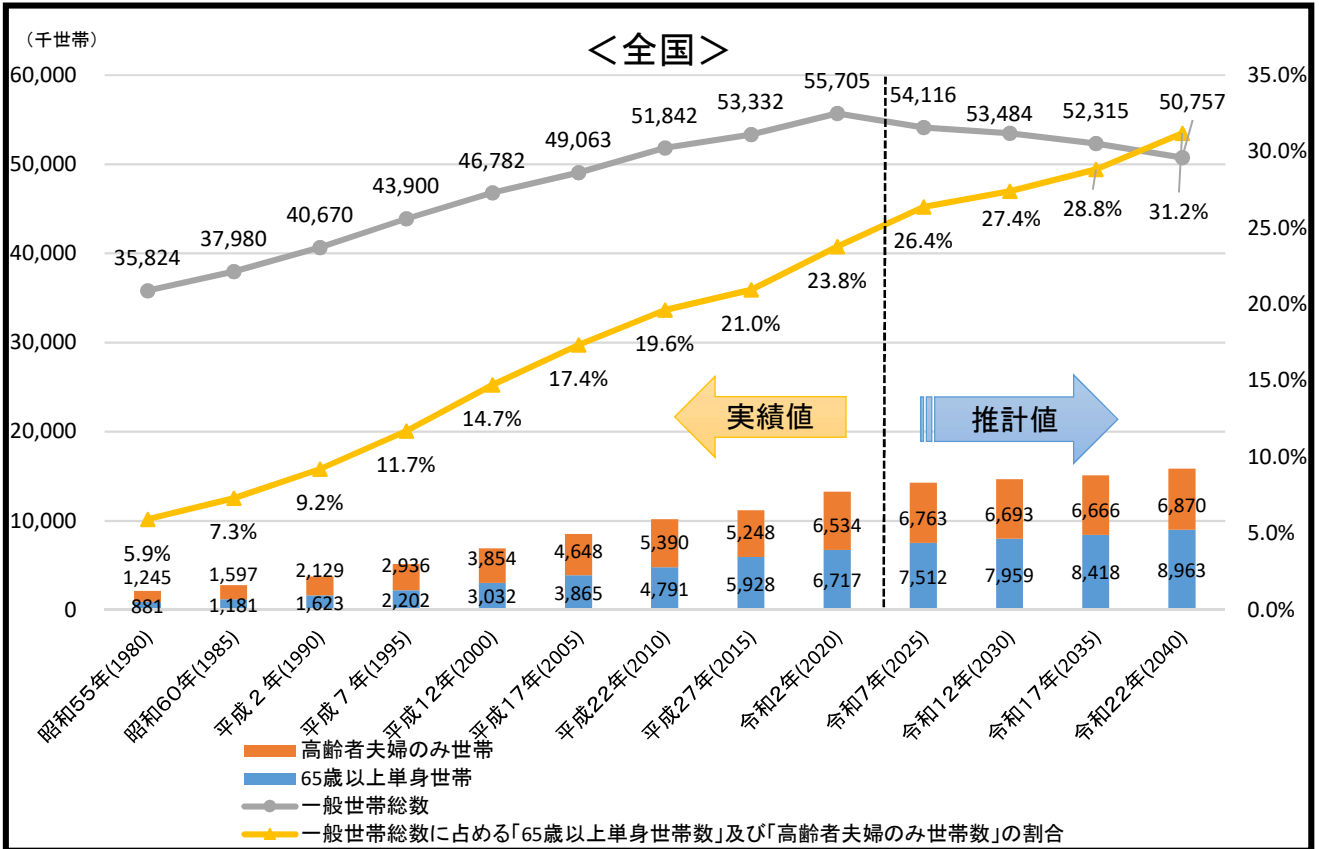
## <男女別平均寿命の推移(全国・徳島県)>



(出所)全国は厚生労働省「完全生命表(R4.3発表)  
徳島県は厚生労働省「都道府県別生命表(H29.12発表)」

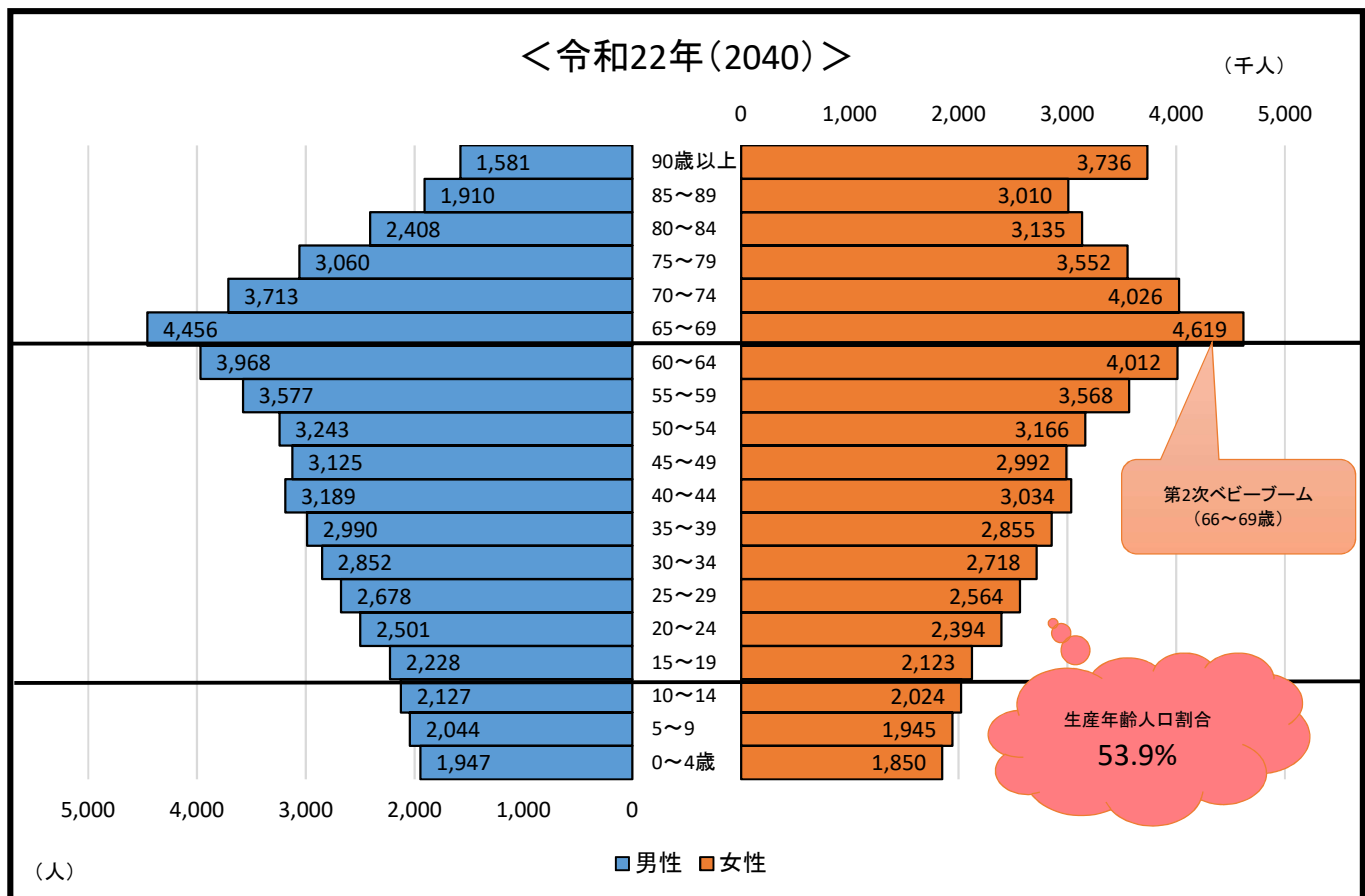
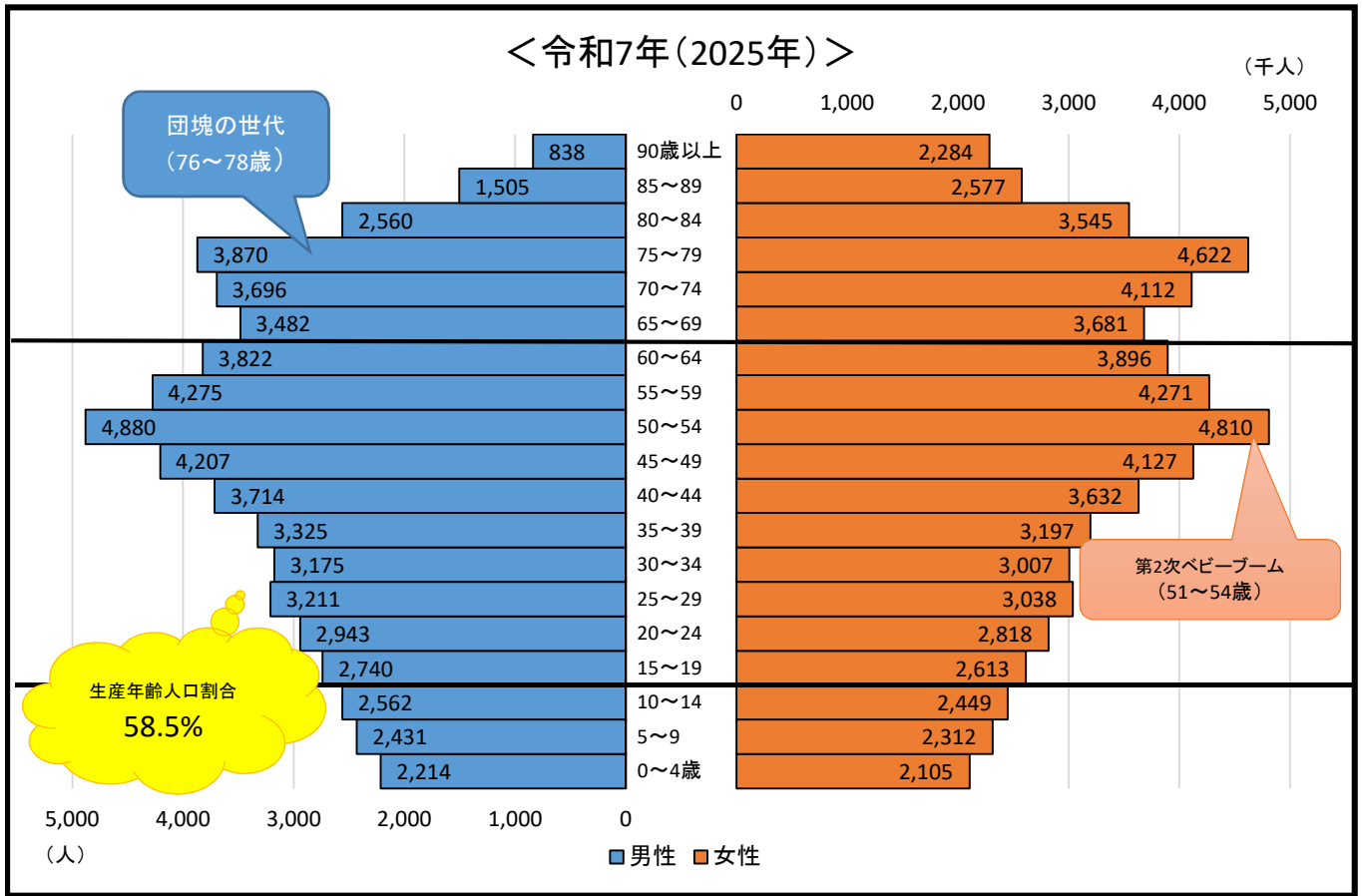


# 高齢者世帯の推移(全国・徳島県)



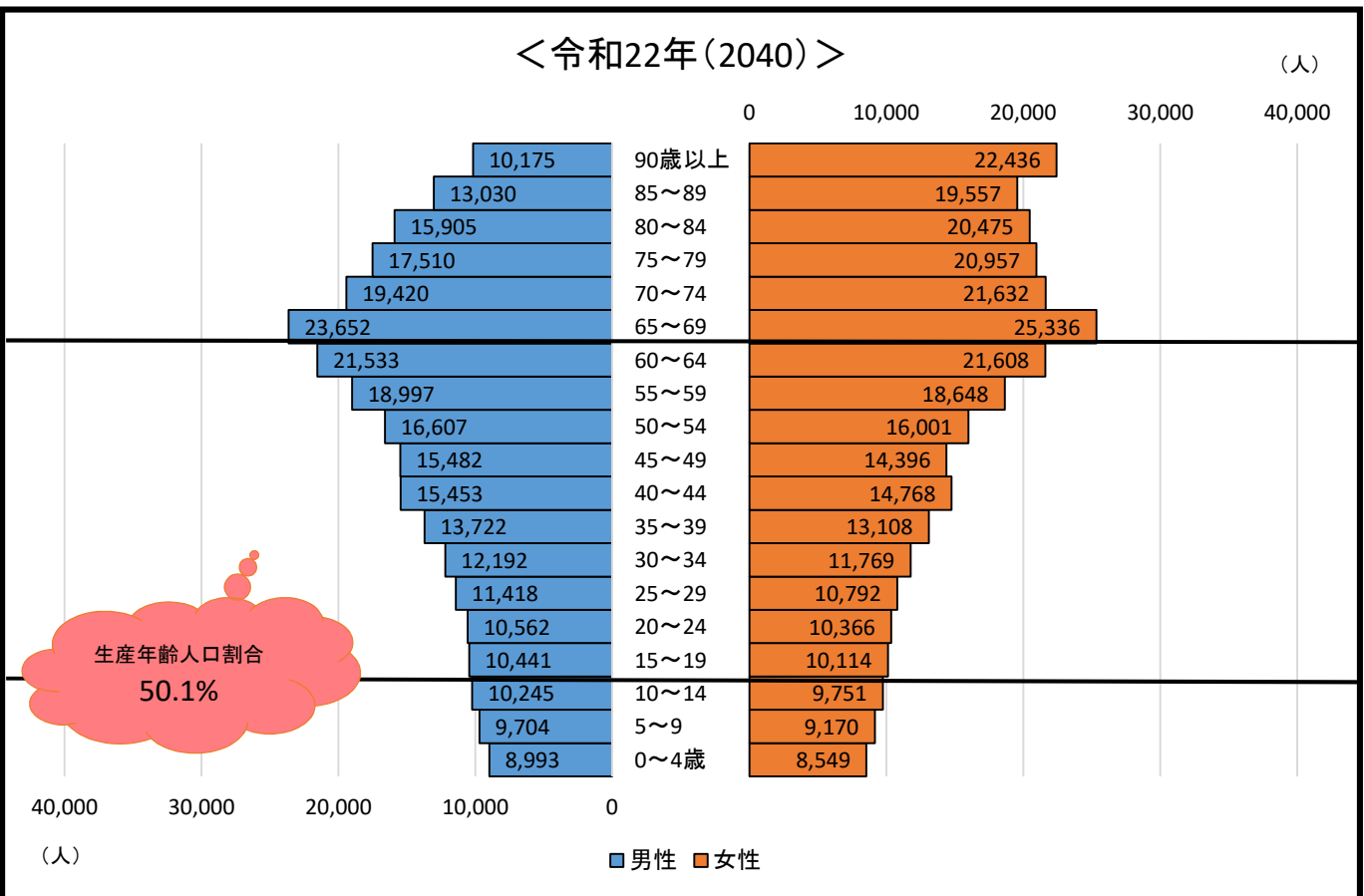
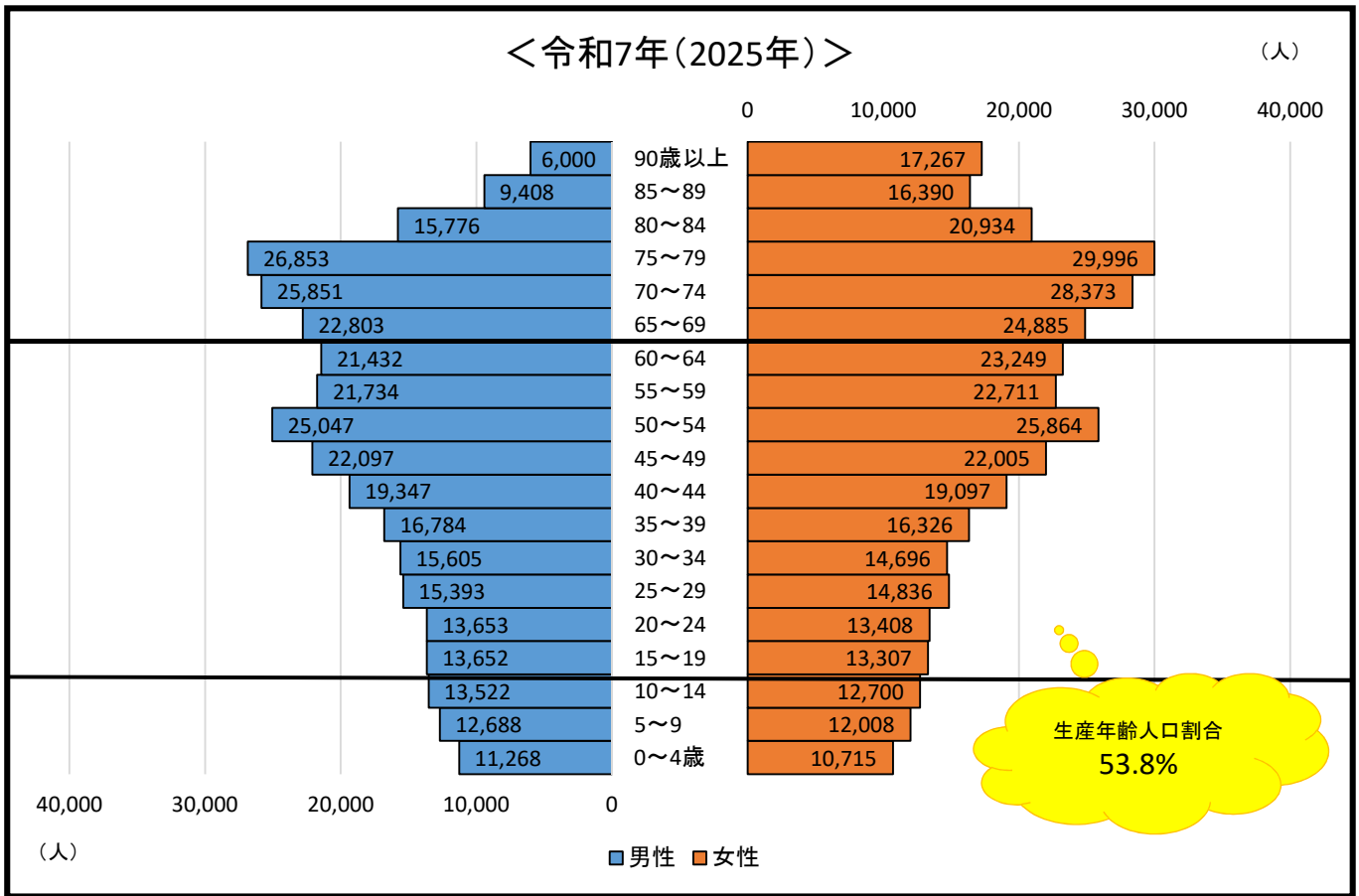
(出所) 実績値は総務省統計局「国勢調査」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「世帯数将来推計」による。  
 ※高齢者夫婦のみ世帯とは夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいう。  
 (R2調査における定義: 夫又は妻のいずれかが65歳以上の夫婦1組のみの一般世帯)

# 人口ピラミッドの将来推計(全国)



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」

# 人口ピラミッドの将来推計(徳島県)



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」

第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）

別紙4

（単位：人）

都道府県	2019年度 (令和元年度) の介護職員数	2023年度（令和5年度）		2025年度（令和7年度）		2040年度（令和22年度）	
		必要数	(参考) 現状推移シナリオ による介護職員数	必要数	(参考) 現状推移シナリオ による介護職員数	必要数	(参考) 現状推移シナリオ による介護職員数
1 北海道	100,969	109,543	102,057	112,541	101,917	133,216	92,086
2 青森県	28,313	29,773	28,479	30,725	28,278	33,417	23,580
3 岩手県	23,833	25,366	24,166	26,831	24,126	27,588	21,365
4 宮城県	35,174	39,060	36,695	41,553	37,225	48,906	38,864
5 秋田県	22,602	24,002	22,197	24,056	21,775	24,213	16,858
6 山形県	20,849	22,372	20,547	23,532	20,262	24,180	16,909
7 福島県	32,473	36,298	33,271	36,676	33,187	38,397	28,123
8 茨城県	42,001	46,964	43,001	49,020	43,323	58,108	44,160
9 栃木県	27,585	31,941	28,349	33,367	28,597	40,076	29,250
10 群馬県	37,201	38,751	38,619	40,843	38,965	48,329	36,380
11 埼玉県	93,494	107,207	100,212	114,644	102,408	139,931	108,461
12 千葉県	86,890	97,325	93,255	102,149	95,036	122,736	91,208
13 東京都	183,111	214,551	189,708	223,022	192,073	263,741	191,403
14 神奈川県	139,335	160,655	150,492	170,757	154,301	203,805	157,374
15 新潟県	41,572	44,470	42,990	45,541	43,276	50,814	40,125
16 富山県	19,060	20,645	19,742	21,060	19,913	22,922	18,718
17 石川県	19,411	21,826	21,660	22,451	22,443	25,837	23,582
18 福井県	13,610	12,096	11,986	12,611	12,220	13,466	13,060
19 山梨県	13,689	15,027	14,430	15,264	14,687	16,904	15,480
20 長野県	37,783	40,665	39,357	41,741	39,940	49,286	42,001
21 岐阜県	31,508	39,269	34,814	40,333	36,083	46,227	40,945
22 静岡県	54,310	59,449	56,442	62,988	57,222	71,817	59,918
23 愛知県	103,563	113,987	106,573	121,007	107,637	140,940	106,368
24 三重県	31,763	34,128	33,693	37,709	34,397	40,172	36,824
25 滋賀県	20,233	22,794	20,619	23,908	20,690	29,833	19,428
26 京都府	40,443	45,175	43,122	46,318	43,962	50,378	42,874
27 大阪府	180,208	200,852	184,313	209,510	185,090	235,608	168,069
28 兵庫県	96,877	105,876	98,934	111,416	99,136	134,276	89,151
29 奈良県	25,411	29,731	27,118	31,037	27,571	35,615	25,713
30 和歌山県	24,306	25,570	24,768	25,832	24,769	25,931	21,914
31 鳥取県	11,061	11,901	11,272	12,192	11,345	13,256	11,572
32 島根県	16,760	17,534	17,131	17,632	17,171	18,498	15,995
33 岡山県	34,453	36,636	35,508	37,433	35,890	41,292	37,188
34 広島県	51,503	54,848	52,143	56,820	52,485	66,758	55,467
35 山口県	27,421	30,601	28,466	31,260	28,840	32,782	30,075
36 徳島県	15,419	16,357	15,589	16,358	15,634	17,218	15,527
37 香川県	17,621	19,238	18,249	19,643	18,384	21,348	17,292
38 愛媛県	31,567	31,682	31,592	32,533	31,403	38,373	27,632
39 高知県	14,292	15,478	14,960	15,747	15,196	15,707	15,955
40 福岡県	86,221	94,051	89,753	97,525	91,301	121,345	92,882
41 佐賀県	15,312	16,447	15,629	16,780	15,633	19,065	14,297
42 長崎県	27,400	29,211	28,077	30,278	28,327	31,873	29,205
43 熊本県	31,775	32,961	31,505	33,645	31,396	39,341	30,934
44 大分県	23,595	24,832	24,826	26,360	25,086	30,094	23,332
45 宮崎県	21,447	22,558	21,009	23,339	20,692	27,251	17,703
46 鹿児島県	32,399	36,314	34,219	37,036	34,869	40,849	36,995
47 沖縄県	20,062	22,443	20,850	23,056	21,087	30,859	21,650

（資料出所）2019（令和元）年度の数値：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

2023（令和5）年度、2025（令和7）年度、2040（令和22）年度の数値は都道府県が行った推計による

注1）必要数の値は、市町村により第8期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量等に基づく推計

注2）2019（令和元）年度の数値、必要数、現状推移シナリオによる介護職員数の見込みの値は、介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員を含む

注3）現状推移シナリオによる介護職員数の値は、近年の入職、離職の動向、及び離職者のうち介護分野への再就職の動向が原則現状と同様に推移していると仮定し、生産年齢人口等の人口動態を加味して推計（令和3年度以降に追加的に取り組む新たな施策の効果は含んでいない）。